

鎌倉市における
混雑状況提供システム開発プロジェクト

1. 「プロジェクトの目的」

私たちが生活に“コロナウイルス”という存在が多大な影響を及ぼすようになった。
このコロナウイルスの流行によって1番の影響を受けているのが観光業であり、感染対策を行いながら営業を行わなくてはならない。そこで前日以降の混雑状況が分かるWeb ページを作ることによって感染のリスクを抑えながら観光を楽しめるのではないかと考えこのプロジェクトに取り掛かった。
プロジェクトを行うにあたって観光地の多い鎌倉市に焦点をあてた。

2. 「プロジェクトの目標」

混雑状況の可視化

3. 「企画対象」

鎌倉市の地方自治体

4. 「開発環境」

Visual Studio Code、GitHub、GoogleDrive、Jupyter Notebook、Xampp

5. 「企画の概要」

Python の外部モジュールを用いて tweet を抽出し、mysql に保存。php、javascript を用いて html 出力し混雑状況のグラフやマップとして表示する。

6. 役割

- プロジェクト・マネージャー 青木翔太
池田啓太
- プログラマー 青木翔太
小濱陽太
池田啓太
- サブ 小泉悠翔
- デザイナー 大森れのん
小泉悠翔
- サブ 池田啓太

7.その他

<Python 外部モジュール>

pandas、janome、datetime、MySQLdb、Oath1Session、fastText

<Javascript ライブラリ>

Chartjs、jQuery、Bootstrap4、Leaflet(Open Street Map)